

ご家族様へ**2021年度 家族健診のご案内**

社員（被保険者）は対象のご家族（被扶養者）に本案内をお伝えください

公文健康保険組合では、本年度もご家族の疾病予防対策として、特定健診を含む生活習慣病健診・人間ドックの費用補助を実施いたします。

なお、新型コロナウイルス感染予防対策として、昨年同様、申込・受診期間を延長しておりますが、2022年度は従来どおり申込期間(8月末迄)・受診期間(10月末迄)とする予定であることをご承知おきください。

また、秋以降は大変込み合いますので、できる限り早期申込・早期受診をお願いいたします。

目次

1. 受診対象者
2. 実施医療機関
3. 申込期間
4. 受診期間
5. 健診種別とその内容ならびに自己負担額
6. 公文健康保険組合が費用援助する女性向け検査（自己負担なし）
7. 公文健康保険組合が費用援助する男性向け検査（自己負担なし）
8. 6.7.以外その他のオプション検査については「全額自己負担」です
9. 注意事項
10. 受診申し込み（「けんしんナビ」を利用してお申し込み）
11. 受診申し込み（「けんしんナビ」を利用しないお申し込み）
12. 自己負担金のお支払方法
13. 結果のお知らせについて
14. 再（二次）検査について
15. 個人情報の取扱いについて
16. お問い合わせ（連絡）先

メタボリックシンドロームをはじめ、生活習慣病の発見と特定保健指導による重症化予防を目的として、40歳から74歳の全ての方は「特定健診」を毎年1回受けることになっています。

公文健康保険組合では保健事業の一環として、35歳以上の被扶養者の皆様にも「特定健診」項目が含まれている「生活習慣病健診」と「人間ドック」（一部自己負担有）を実施いたします。

記

1. 受診対象者

2021年12月31日時点において、満35才以上（1986年12月31日までに誕生）の方で、申込日・受診日時点ともに公文健康保険組合の被扶養者として認定を受けている方

- ※ 公文健康保険組合の資格を喪失したのちに「受診」された場合、その費用は全額、個人負担になります。
- ※ 被保険者が退職後に任意継続被保険者となった場合は、本書ご案内の「家族健診」とは別の「任継健診」の受診対象者となります。在職中に「家族健診」を受診できなかった場合は公文健康保険組合までご連絡ください。

2. 実施医療機関

公文健康保険組合が委託契約している一般財団法人日本健康文化振興会（以下「日本健康文化振興会」という）が持つ全国約2,700箇所の提携医療機関（別紙「2021.健診実施医療機関名簿」）よりお選びください。

3. 申込期間 **2021年12月31日（金）まで <厳守>**

- ※ いかなる理由においても2022年1月1日以降のお申し込みは受付できません。
- ※ 受診希望日の3週間前までにお申し込みください。

4. 受診期間 **2021年4月1日（木）～2022年2月28日（月）まで <厳守>**

- ※ いかなる理由においても2022年3月1日以降の受診はできません。
- ※ 例年「胃カメラ」の予約が取りにくくなっています。
ご希望される方は早めにお申し込みいただく等ご留意ください。

5. 健診種別とその内容ならびに自己負担額

① 人間ドック 基本健診自己負担 ￥10,000

『生活習慣病健診A健診』に以下の項目がプラスされます。

肺機能検査・大腸検査（便潜血反応）・腹部超音波検査・血液一般（血液像・血液型）・肝胆膵臓系（総ビリルビン・A/G・血清アミラーゼ）・血清学反応（HBs抗原＜定性＞・HCV抗体＜定性＞・TPHA・RPR・RF・CRP）・眼圧検査

② 生活習慣病健診A健診（以下「A健診」） 基本健診自己負担 ￥5,000

身体測定（身長・体重・BMI）・腹囲測定・視力（遠点）・聴力検査（オージオメーター）・尿検査（蛋白・糖・潜血）・血圧・心電図（安静時）・胸部X線（直接撮影）・バリウム（胃部X線検査）又は胃カメラ（内視鏡検査）の選択・血液一般（赤血球・白血球・血色素・ヘマトクリット・血小板）・脂質系（総コレステロール・中性脂肪・HDLコレステロール・LDLコレステロール）・肝機能系（GOT・GPT・γ-GTP・ALP・LDH・総蛋白）・腎尿路系（尿素窒素・クレアチン・尿酸）・空腹時血糖・糖代謝（HbA1c）・眼底検査・一般内科診察

③ 生活習慣病健診B健診（以下「B健診」） 基本健診自己負担 ￥0

『生活習慣病健診 A健診』の検査内容から胸部X線（直接撮影）・胃部X線（バリウム or 胃カメラ）・聴力検査が除かれます。

※B健診ではオプション検査等の追加検査は申し込めません

6. 公文健康保険組合が費用援助する女性向け検査（自己負担なし）

受診希望の方は以下の「5パターン」より、「いずれかひとつ選択」できます

- ① 子宮癌のみ
- ② 乳癌のみ（視触診 + 超音波）
- ③ 乳癌のみ（視触診 + マンモグラフィー）
- ④ 子宮癌 + 乳癌（視触診 + 超音波）
- ⑤ 子宮癌 + 乳癌（視触診 + マンモグラフィー）

※視触診を実施しない医療機関もあります。「医療機関名簿」でご確認ください。

7. 公文健康保険組合が費用援助する男性向け検査（自己負担なし）

前立腺腫瘍マーカー「PSA」 前立腺がんの早期発見に有用です。

8. 6.7.以外その他のオプション検査については「全額自己負担」です。

検査項目・費用については受診先の医療機関にお問い合わせください。

9. 注意事項

- ① 基本健診内容はほぼ全国統一ですが医療機関によっては多少の違いがあります。
- ② 医療機関によって可能な検査項目が変わります。検査可否は「2021.健診実施医療機関名簿」で確認してください。
- ③ 医療機関によっては、胃カメラを選択した場合、差額料金が発生します（差額は全額自己負担）。
- ④ 人間ドックの検査項目として「大腸検査・腹部超音波・肝炎検査」が項目として設定されていない場合は、日本健康文化振興会より連絡いたします。
- ⑤ 「人間ドック」又は「A健診」を選択された場合、婦人科検査費用、男性P S A費用は全額健康保険組合が負担します（本人負担なし）。
- ⑥ 「B健診」を選択された場合、オプション検査・婦人科検査・P S Aの申し込みはできません（基本健診のみ）。
- ⑦ オプション検査・婦人科検査の単独受診はできません。
- ⑧ 婦人科乳癌検査は医療機関によっては「視触診」がおこなわれない場合があります。
- ⑨ 8. の「その他オプション検査」は、日本健康文化振興会への基本健診の申し込み後、受診票がお手元に届いてから、ご自身で健診医療機関にお申し込みください。費用のお支払いについては 12. 自己負担金のお支払方法 をご参照ください。

10.受診申し込み（「けんしんナビ」を利用してお申し込み）

「けんしんナビ」サイト <https://kumon.kenshin-navi.com/>

※ 社員健診用の「けんしんナビ」とサイトが違います。



スマートフォン、パソコンからお申込みいただける「けんしんナビ」を導入しています。「けんしんナビ」をご利用いただくと、コース選択、医療機関選択、受診希望日が画面で確認入力できます。ぜひ積極的にご利用ください。

◎昨年「けんしんナビ」をご利用の方は、昨年のID・PWでログインしてください。
 ※セキュリティ強化のため、ログインIDとPWを入力後「一時パスワード」がIDとして使用しているメールが届きます。「一時パスワード」入力後にログインができます。

◎初めてご利用の方は別紙「けんしんナビ お申し込み手順」をご参照のうえ、新規会員登録をしてください。

【留意事項】

- ※ 個人のメールアドレスが必要です。
- ※ 氏名等は保険証に記載されている通りに入力してください。
 - ・外字が変換できない場合は、常用漢字で入力してください。
 - ・氏名が15文字を超える場合は、15文字まで入力してください。

11.受診申し込み（「けんしんナビ」を利用しないお申し込み）

「けんしんナビ」を利用されない方は、紙の「申込書」を使用してお申し込みが可能です。以下の手順に沿ってお手続きをお願いいたします。

① 申込用紙

「けんしんナビ」を利用されない場合は、必ず公文健康保険組合/家族健診（日本健康文化振興会）「2021年度 家族健診申込書」を使用してください。
申込書は公文健康保険組合のホームページからもダウンロードできます。

② 受診する医療機関を選ぶ

連絡書添付の「2021.健診実施医療機関名簿」を使用し受診する医療機関を選んでください。**【注意】連絡書添付の名簿を全部印刷されますと60ページ以上の印刷となります！**

③ 受診の予約

◆【医療機関名簿の「交通道順等」欄に電話番号が**ある**場合】

直接、医療機関に連絡のうえ、下記の「留意点」を必ず伝えて予約をし、別紙「2021年度 家族健診申込書」に、健診種別・受診者情報・医療機関情報・受診日時・担当者名・健診内容等をご記入ください。

【留意事項】

- 1) 日本健康文化振興会を利用してお申し込みであることを伝える。
- 2) 健診種別（「人間ドック」または「生活習慣病健診」）を伝える。
- 3) 希望日時を伝える。
- 4) 予約担当者名を確認する。
- 5) 「人間ドック」を受診する場合
「胃部検査の希望（「バリウム」または「胃カメラ）」・「婦人科検査の希望コース」を伝える。
- 6) 「生活習慣病健診」を受診する場合【※「A健診」「B健診」は公文内部での呼称です】
予約時には、必ず、次の検査内容の確認をおこなってください。
「生活習慣病健診 A健診」の場合は、
「生活習慣病健診セット」に、「胸部X線」・「聴力検査」・「眼底検査」・「胃部検査の希望（「バリウム」または「胃カメラ）」・「婦人科検査の希望コース」の追加を伝える。
「生活習慣病健診 B健診」の場合は、
「生活習慣病健診セット」に、「眼底検査」を追加する旨を伝える。※胃部検査はありません。婦人科検査、他のオプションも選択できません。

◆【医療機関名簿の「交通道順等」欄に電話番号がない場合】

日本健康文化振興会経由で予約を取ります。

別紙「2021年度 家族健診申込書」に健診種別・受診者情報・希望する医療機関情報・受診希望日（第3希望まで）・健診内容等をご記入ください。胃部検査で胃カメラを選択される場合、予約が取りにくいので余裕をもってお申し込みください。

④ 「家族健診申込書」の送付

※ 受診日（受診希望日）の3～4週間前までに到着するようにお送りください。

「申込書」の送付方法	宛名：日本健康文化振興会 関西事務所
メール（申込書を添付）で送信	yoyaku@healthnet.or.jp
郵 送	〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-3-10 タナカ・イトーピア新大阪ビル4F
FAXで送信	06-6305-0140

【注意】申込書の送付方法がいずれの場合も、日本健康文化振興会から「受付完了」の連絡はおこないません。

⑤ 健診の案内

受診日の予約が確定すると、後日、日本健康文化振興会から「実施日のお知らせと問診（受診票）」と別途医療機関から「健診キット等」が届きます。届き次第内容を確認して、健診当日ご持参ください。

※ 「人間ドック」「A 健診」を受診される場合は、自己負担金の支払完了後のお届けになります。

12.自己負担金のお支払方法

- ① 「人間ドック及び生活習慣病 A 健診」（ともに基本健診部分）の自己負担金は、日本健康文化振興会から送付される振込用紙でご送金ください。
「けんしんナビ」でお申込の場合は『SMBC 振込票』、「紙」でお申込の場合は『郵便払込票』がお手元に届きます。
- ② 公文健康保険組合が負担する「婦人科検査・PSA」以外のオプション検査の費用（全額自己負担）は医療機関窓口でお支払ください。
- ③ 医療機関によっては、胃部検査で「バリウム」ではなく「胃カメラ」を選択した場合に差額費用が発生する場合があります。その差額費用は窓口でお支払ください。
- ④ 胃カメラ検査中に生体検査をおこなう場合は、保険診療扱い（保険証提示）になりますので個人負担分を窓口でお支払ください。

13.結果のお知らせについて

健診受診後、約3週間～1ヵ月程度で医療機関から「健診結果報告書」が直送されます（一部例外あり）。緊急を要する場合は医療機関から直接受診者へ連絡が入ることもあります（「特定健診」項目の結果データについては、法律の定めにより、公文健康保険組合において保管します）。

14.再（二次）検査について

かかりつけ医等、健診受診医療機関以外でも受診できます。再（二次）検査費用は保険診療扱い（保険証提示）になります。その結果は、各医療機関より受診者宛に通知されます。

15.個人情報の取扱いについて

ご提供いただきます個人情報は本事業を実施するために使用します。医療機関、日本健康文化振興会並びに特定保健指導をおこなう事業所以外への提供は致しません。

16.お問い合わせ（連絡）先

お問い合わせ内容	連絡先
「けんしんナビ」の登録・入力等操作方法及び ログインID忘れ	日本健康文化振興会 サポート窓口 TEL:050-3538-6221
健診内容の変更・日程変更・キャンセル ・キャンセル後の再申込等	日本健康文化振興会 関西事務所 TEL：06-6305-0130 繋がらない場合は、全国健診部 TEL:03-3316-0777 ※問診（受診票）到着後のキャンセルは医療機関にもご連絡ください
申込書「受付完了」の確認をしたい	日本健康文化振興会 関西事務所 TEL:06-6305-0130
受診票・問診票が届かない	
医療機関から健診キットが届かない	医療機関にお問い合わせください
その他	公文健康保険組合 TEL:06-4797-8804
家族健診の案内（連絡書以外の掲載）	公文健康保険組合のホームページ www.kumon-kenpo.or.jp

■家族健診 受診に関するQ&A (日本健康文化振興会)

お問い合わせの多い事項に関してQ&A方式で掲載しております。
受診にあたってのご参考としてください。

【健診について】

Q1： 40歳以上の被扶養者は健康保険組合の「特定健診」を受診しなければならないとされていますが、今回案内の家族健診は「特定健診」を受診したことになるのですか？

A： ご案内している「人間ドック」「生活習慣病健診」ともに、「特定健診」で必要な検査項目はすべて含まれています。今回の家族健診を受診いただければ「特定健診」を受診したことになり、そのデータは法律に基づき健康保険組合で保管されることとなります。

Q2： 掲載されている「2021.健診実施医療機関名簿」以外の病院で受診はできますか？

A： できません。医療機関については、全国的に検査項目や費用面などで偏りがないように、一定レベル以上の医療機関をピックアップして推奨しているためです。「2021.健診実施医療機関名簿」より受診希望の医療機関を選択してください。

なお、「2021.健診実施医療機関名簿」に載っていない医療機関での受診や、日本健康文化振興会を利用されずに受けた健診（特定健診・生活習慣病健診・人間ドック等）は、全額自己負担となりますのでご了承ください。

Q3： 「家族健診」が受診できるのは、配偶者のみですか？

A： 健康保険上の「被扶養者」であれば配偶者でなくても受診可能ですが、受診対象者の年齢は35才以上です。「1. 受診対象者」をご確認ください。

Q4： 「人間ドック」と「生活習慣病健診A健診」、「生活習慣病健診B健診」の違いは？

A： 人間ドックと生活習慣病健診A健診の検査項目についてはほぼ同様ですが、加齢とともに発症率が上がる項目（主に癌等）について、人間ドックの方が検査内容は綿密になります。

生活習慣病健診B健診の検査項目は、A健診から胃部検査（バリウム）、胸部X線検査、聴力検査を省いた『特定健診』検査項目が中心の健診になります。ご案内の検査項目をご覧ください。

Q5： 検査項目のうちX線のみ受診を希望したくないのですが？

A： 別の検査で最近X線を受診した、もしくは妊娠の可能性があるのでX線を希望されない場合は、申込時にその旨を病院へ伝えてください。なお、X線以外にも受診を希望しない検査項目がある場合は、原則、受診日の一週間前までに医療機関に連絡をしてください。

Q6： 受診の2週間前になっても、健診について何の連絡もないのですが？

A：日本健康文化振興会に申込書をFAX（又は郵送）した後は、FAX等による『着連絡』はありません。「実施日のお知らせと問診（受診票）」がお手元に届かない場合、日本健康文化振興会にご連絡ください。

Q7： 受診後、窓口で費用を支払うよう言われたのですが？

A： 原則、「基本費用」についてはその場でのお支払いは発生しません。

ただし、病院によっては、「胃部検査をバリウムではなく、胃カメラを選択した」場合に、追加の費用（感染を防ぐ消毒等の費用）が発生する場合があります。その追加費用は窓口でお支払いください。また、オプション検査を受診された場合は、窓口にてその費用をお支払いください。

Q8： 胃カメラ受診時に生体検査が実施され費用を請求されました。これは自己負担ですか？

A： 生体検査については保険診療扱いとなります。一般診療と同じく本人3割負担となりますので窓口でお支払いください。

【再（二次）検査・精密検査について】

Q9： 再（二次）検査・精密検査の費用は個人の負担ですか？

A： 保険診療扱いとなります。一般診療と同じく本人3割負担となりますので窓口でお支払いください。

Q10： 健診受診医療機関以外の病院で再（二次）検査・精密検査を受診できますか？

A： できます。一次検査の結果に基づいての再（二次）検査・精密検査の判定ですので、同じ医療機関で再（二次）検査・精密検査を受診した方が望ましいかもしれませんが、しかしながら、「かかりつけの病院で検査をしたい」、「今後治療の可能性が有る」など、個人事情に基づき、別の医療機関で再（二次）検査・精密検査を受診されても問題ありません。

Q11： 再（二次）検査の受診結果についてはどのように送られてきますか？

A： 再（二次）検査は保険診療となります。結果は検査を受けられた医療機関で後日受診のうえ担当医からお聞き下さい。再度、医療機関に行かなければいけませんが、病状と今後の治療方針を話し合う場ともなりますのでご理解ください。

以上